

収入

一金四百四十四組合本部より借入金一金四十圓支那會計より借入金
一金三十四圓七十三錢雜收入一金三百七十六圓五十五錢寄附金合計
一金四百二十六圓二十錢マヌク純益金一金百五十九圓六十五錢
組合本部より補助金合計金千四百六十四圓十三錢也

支出

一金四百四十四組合本部に償却一金四十圓支那會計へ償却金三百五
十四圓六十錢米代一金六十一圓印刷代一金四十六圓自働車代一
金三十四圓大阪出張費一金六十八圓薪炭代一金六十八圓九十九
七錢賭博費一金三十三圓演說會費一金四十五圓九十五錢電車及
び車代一金二十六圓俱樂部番人手當一金七十九圓〇四錢助食物
代一金七十六圓七十錢問題解決の祝酒代金三十一圓四十五錢パ
ン代一金三十四圓五十錢實行委員運動費一金十五圓五十二錢通
信費合計金千四百六十四圓十三錢也

斯くの如く組合本部及び支部に對し償却金をし
て居るを見ても、職工團の戦闘力が未だ釋々たる
金融のあつた事を語つてゐる、加之各方面よりの
義金は將に之から集まらうとしてゐるのである。
而して職工團が運動費不足の爲め其團結の破る、
が如くに思つた會社側は、大なる誤算であつた事
を感ぜざるを得なかつた。

へ、其成功を祝し、併せて此悦びが日本全體の勞
働者の悦びなるを祝し、同時に此成功が各労働團
體の後援の力の大なるに依る事を思ひ、謹んで感
謝の意を表した、而して今後斯くの如き労働争議
の起るや、其如何なる労働者なるを問はず、出來
得る限りの援助を與へんと固く覺悟したのは尤も
なる事である。

工場閉鎖の弱點

工場閉鎖が労働運動を阻止する唯一の武器であ
ると思つたに拘らず、それが労働者に取つては却
つて幸ひなる事を此争議に依つて明かに證明され
た。日本には未だ治安警察法の如き悪法があつ
て、同盟罷工に際し官憲は兎もすると、此悪法を
悪用して労働者を壓迫する傾向があるが、工場閉
鎖の場合は労働者が如何に聲を大にして叫び、官
憲が如何に鵜の目鷹の目で尋ねても労働者は決して
其悪法に束縛さるゝ事は無いのである。之れ工

凱歌を挙げた委員

運動費の撰擇よりも尙ほ會社を恐れさせたのは
各労働團體及び労働者の援助である。職工團が各
労働團體の後援で自分等は轉職すると同時に、同
職の園池製作所に就職する事を極力防止し、しか
も労働者大會に於て決議せるが如くに、園池製作
所の製品に對して不使用同盟を作らんか、園池製
作所は永久に涉つて、工場を閉鎖するの外に途は
無いのである。此處に於て乎中村工學士及び職工
團との約束を破つた熊崎専務が、進んで交渉委員
との會見を申込むで來たのは當然である。

會社側の園田社長熊崎専務森谷工務課長が、職
工側の第一交渉委員と最後の會見をして、職工側
の勝利としての條件を誓約したのは一月二十六日
午後七時であつた。交渉委員が凱旋將軍の如く月
白さ夜を自働車を馳らせて園池俱樂部に引き揚げ
ると、待ち設けた職工團は井舞喝采して之れを迎

工場閉鎖が同盟罷工よりも、労働者の立場をして有
利ならしむる第一である、第二には争議解決後休
業中の日給を資本家に要求する事が出来るのであ
る。休業は労働者の意志にあらずして資本家の意
志であり、其爲めに労働者の生活が脅かされるゝと
したならば、其休業中の日給は當然労働者に支給
すべきものである事は明かでないか。現に園池製
作所は熊崎専務が或る方法に依り、日給に相當す
る金額を職工一同に支給したのである。

産業民主の大精神

労働運動の目的は單に労働賃銀増加、労働時間
短縮の要求では無い。労働賃銀の増加も、労働時
間の短縮も、労働者向上の一方法であらうけれど
も、決して労働運動の眞髓に觸れたものでは無
い。労働運動の目標は労働者の人格を確立し、同
時にそれを通じて總ての人が人としての完全なる
生活を営み得る所の、産業民主の精神であらねば